

1. 今年度以降の課題・対策

今回の目標値についての達成度は十分な達成度であったとはいえませんでした。今後、下記の観点を念頭に置いて整備を行っていきます。

■ 平成15年度未完成事業について早期に完成を目指します。

平成15年度の目標達成度が十分でなかった理由として平成15年度完了事業が完了しなかったことが挙げられます。この完了しなかった事業については、できるだけ早いうちに完成を目指し、課題への解決を図ることとします。

■ 工期内での事業の完了を目指します。

上記で述べましたが、工期内に事業が終えることができなかったことにより、目標達成度が十分な結果とはいえませんでした。今後、可能な限り工期内での事業完了ができるよう目指します。

■ 新たな事業を実施し課題解決に努めます。

渋滞損失・事故等の課題解決のため、平成16年度には新たに国道29号西御門線形改良工事等の事業を行い、課題解決に努めることとします。

■ 山陰道等の早期供用を目指します。

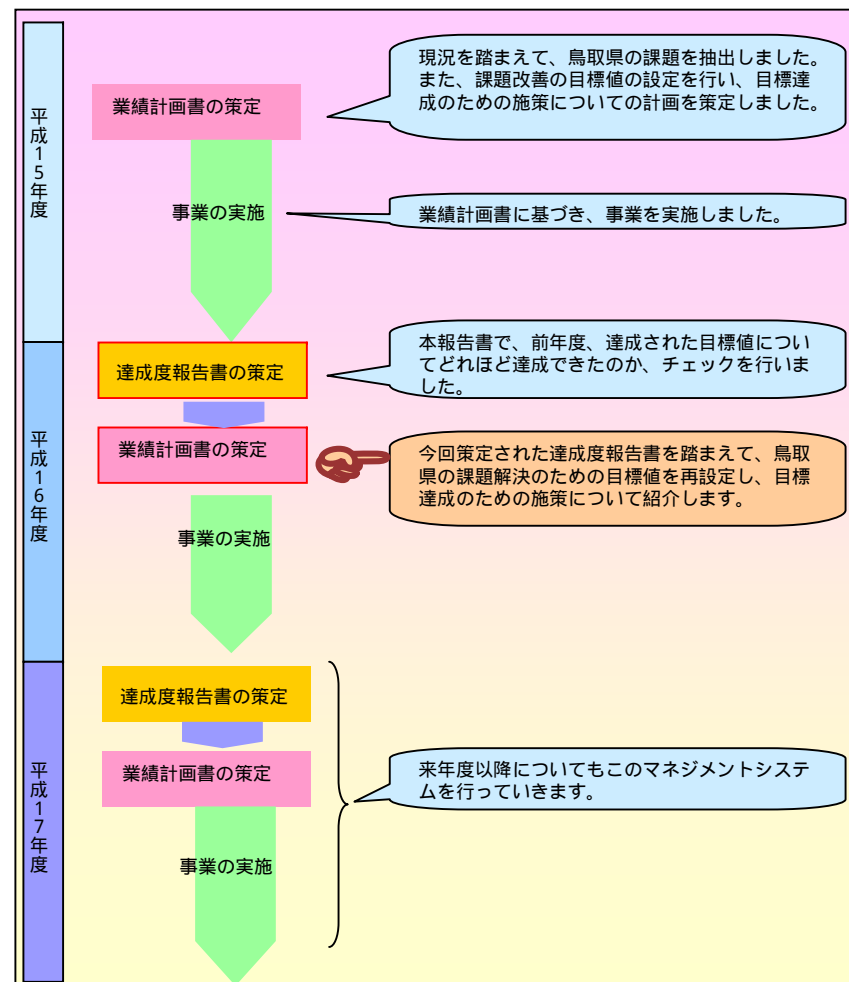
課題への大きな改善を図るためには、山陰道、姫路鳥取線等のビッグプロジェクトの供用はかせません。今後、これらの工事を効率よく行っていき、路線の早期供用を目指します。

中国横断自動車道姫路鳥取線について

平成15年12月に国土開発幹線自動車道建設会議（国幹会議）が開催され、中国横断自動車道姫路鳥取線は従来の日本道路公団（JH）が整備を行う方式から、新直轄方式と呼ばれる国（国土交通省）が建設を行う方式で整備を行うことが決定されました。
 国が整備を行うため、整備される路線の通行料金は無料となります。
 平成15年度の業績計画書には、姫路鳥取線については記載していませんでしたが、本年度の業績計画書については、姫路鳥取線についても整備の目標等の設定を行う予定としています。

2. 今後の流れ

今回、昨年と設定された目標を達成しかどうかについて検討を行いました。この検討結果については、今年度の業績計画書（アウトカムプラン）の中に盛り込み、課題解消への施策を検討していきます。



STEP 1
業績計画書の確認

STEP 2
対策事業の状況

STEP 3
完成事業の効果

STEP 4
目標達成の確認

STEP 5
本年度以降の課題対策